

区政情報の発信力強化の取組について

区民の区政への関心と理解を高めるため、区政情報の発信力と訴求力を強化する取組を一体的に行うこととしたので、報告する。

1 ユニバーサルデザイン・多言語対応の推進

(1) 中野区ホームページ

- ア ユニバーサルデザインフォントの導入
- イ 災害時用テキスト版トップページの多言語対応
- ウ その他レイアウトやページ構成等の一部見直し

(2) 「なかの区報」

- ア 点字版「なかの区報」の発行(希望する視覚障害者)
なお、声の区報は、引き続き発行する。
- イ 10か国語対応アプリの導入
なお、外国人向け広報紙は、廃止する。

2 情報発信ツールの見直し・拡充

(1) 「わたしの便利帳」及び子育て支援ハンドブック「おひるね」の発行方法・内容の見直し

現在は、広告収入により公費負担なしで発行するスキームであるが、紙の価格高騰等によりページ数の確保が難しく、十分な情報提供ができていない。これを踏まえ、デジタル情報へシフトしていくことを視野に入れながら、「わたしの便利帳」と子育て支援ハンドブック「おひるね」の発行方法と内容を見直す。(生活関連情報や子育て関連情報を優先度やわかりやすさから体系的に整理し、ホームページの改善にもつなげる。)

(2) SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)による情報発信の強化

- ア ニュースアプリ「スマートニュース」との連携による情報発信の実施
- イ LINE公式アカウントによる情報発信等の実施

3 区の情報資産の充実と活用の推進

(1) 国立国会図書館のインターネット資料収集保存事業(WARP)の活用

国立国会図書館のホームページ上に中野区ホームページの各ページを年4回アーカイブと

して保存し、随時閲覧可能とする。(中野区ホームページが閲覧できない場合のバックアップとしても利用する。)

(2) 歴史的情報資産の充実と活用

ア 区が保管している歴史写真等のデジタル化

イ 地域住民との協働による、変わりゆく中野のまちや人の様子などの映像や画像の記録・収集・発信

なお、区広報番組（ピックアップなかの）の制作は、休止する。

4 広報アドバイザーの導入

広報媒体の高度なIT化やサービスの多様化なども捉え、区の情報収集力・発信力・訴求力を向上するため、民間・自治体双方の広報経験と高いスキルを有する外部人材を登用する。上記1から3の取組をはじめ、区の広報活動全般について専門的支援及び助言を行うほか、職員の広報マインドの醸成やデザイン力向上のための研修等の企画・実施に参画する。